

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 転移性腎細胞がん患者を対象とした T-O based combination therapy 後の TKI 治療の有効性と安全性に関する多施設共同後方視的観察研究</p>
	<p>●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究施設において、転移性腎細胞がんの一次治療としてイピリムマブ+ニボルマブ、ペンプロリズマブ+アキシチニブ、アベルマブ+アキシチニブ、ニボルマブ+カボザンチニブのいずれかの治療を受け、さらに二次治療としてスニチニブ、パソパニブ、アキシチニブ、カボザンチニブ、ソラフェニブのいずれかの治療を受けられた方</p>
	<p>●研究の目的 転移性腎細胞がんの一次治療と二次治療には複数の選択肢があります。どの一次治療を受けた場合に、どの二次治療を行うのが最適であるかどうか、あるいはどのような特徴を持つ腎細胞がんに対してどの治療が有効であるかについては、不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、最適な二次治療薬が何かを明らかにすることを目的とします。</p>
	<p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2024 年 4 月 30 日まで</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的送信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、各機関の研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 病歴、生年月、治療歴、治療効果、死亡、副作用等の発生状況</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

料・情報の項目	況 等
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名</p> <p>北海道大学病院 泌尿器科 大澤崇宏</p> <p>弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 大山力</p> <p>東北大学病院 泌尿器科学分野 伊藤明宏</p> <p>秋田大学大学院医学系研究科 泌尿器科学講座 沼倉一幸</p> <p>山形大学医学部 腎泌尿器外科学講座 土谷順彦</p> <p>筑波大学附属病院 腎泌尿器外科 神鳥周也</p> <p>茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 泌尿器科 常樂 晃</p> <p>帝京大学医学部 泌尿器科学講座 中川徹</p> <p>東京慈恵会医科大学附属病院 泌尿器科 木村高弘</p> <p>国立がん研究センター中央病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科 松井喜之</p> <p>東京医科歯科大学 泌尿器科 田中 一</p> <p>東京女子医科大学 泌尿器科 高木 敏男</p> <p>千葉大学医学部附属病院 泌尿器科 市川智彦</p> <p>国際医療福祉大学成田病院 腎泌尿器外科 井上高光</p> <p>東京慈恵会医科大学附属柏病院 泌尿器科 三木淳</p> <p>新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学 山名一寿</p> <p>国立大学法人信州大学医学部 泌尿器科 原寛彰</p> <p>山梨大学 泌尿器科学講座 三井貴彦</p> <p>富山大学附属病院 腎泌尿器科 西山 直隆</p> <p>静岡県立総合病院 泌尿器科 吉村耕治</p> <p>奈良県立医科大学 泌尿器科学 三宅牧人</p> <p>和歌山県立医科大学 泌尿器科 原 勲</p> <p>京都大学医学部附属病院 泌尿器科 小林 恭</p> <p>京都府立医科大学 泌尿器科 本郷文弥</p> <p>大阪公立大学医学部附属病院 泌尿器科 大年 太陽</p> <p>関西医科大学附属病院 腎泌尿器外科 谷口久哲</p> <p>近畿大学医学部 泌尿器科 藤田和利</p> <p>神戸大学医学部附属病院 泌尿器科 中野 雄造</p> <p>兵庫県立がんセンター 泌尿器科 倉橋俊史</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 腎泌尿器科学 日向 信之</p> <p>徳島大学病院 泌尿器科 高橋正幸</p> <p>香川大学医学部 泌尿器科学 杉元幹史</p>